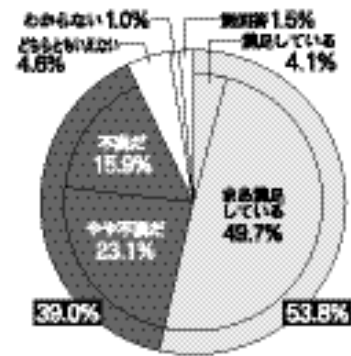


いまの生活には、満足感の方が高い

【今の生活に対する満足度を聞いたところ、「満足・まあ満足」の計が53.8%で、「やや不満・不満」の計が39.0%と、今の生活に満足を感じている割合が高かった。

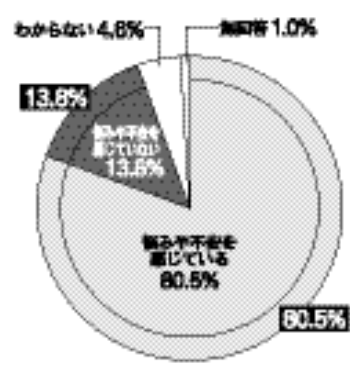
【今後のゆとり時間の過ごし方】では、「旅行に行く」が58.5%



でも多くの市民が悩みや不安を持っている

【日頃の生活の中での悩みや不安を感じているところ】「悩みや不安を感じている」が80.5%で、ほとんどの方が悩みや不安を感じていた。

その理由は、老後の生活設計が46.2%でトップ。ほかに、



トップ5	構成比
老後の生活設計	46.2%
自分の健康	40.0%
今後の収入や資産の見通し	39.5%
家族の健康	33.8%
現在の収入や資産	23.6%

(複数回答)

「自分の健康」が40.0%、家族の健康」が33.8%と高かった。

また、「現在の収入や資産」が23.6%で、「今後の収入や資産の見通し」は39.5%と、経済的には、将来への不安を抱えている方が多いという結果になった。

ゆとり時間に『ラジオ・テレビ』が人気

【日頃の生活の中でのゆとり時間の有無】を聞いたところ、「かなりある・ある程度ある」の計が49.2%、あまりない・ほとんどない」の計は38.4%で、ゆとりがあると感じている方のほうが多かった。

【現在のゆとり時間の過ごし方】で最も多かったのがラジオを聞いたり、テレビを見たりする(80.0%)、続いて新聞・雑誌などを読んだりする(61.0%)で、多くの方がなんらかの情報メディアにふれていることが分かった。

ポランティアなどの、地域活動や社会活動をする」は、7.2%で関心が低かった。

【今後のゆとり時間の過ごし方】では、「旅行に行く」が58.5%

トップ5 (現在)	構成比
ラジオ・テレビを聞く(見る)	80.0%
新聞・雑誌を読む	61.0%
趣味を楽しむ	47.2%
家族との団らんを楽しむ	41.5%
のんびり休養する	35.9%
地域活動や社会活動をする(12位)	7.2%

(複数回答)

トップ5 (今後)	構成比
旅行に行く	58.5%
趣味を楽しむ	57.9%
運動やスポーツなど体を動かす	43.6%
ラジオ・テレビを聞く(見る)	40.5%
のんびり休養する	40.0%
地域活動や社会活動をする(12位)	15.4%

(複数回答)

「地域活動や社会活動をする」は、15.4%で、将来的にはこうした活動に参加してみたいと思っている方が、現在の2倍いることが分かった。

現在と今後を比べると、現在は、なんとなく時間を使っている」と思えるのに対し、今後は「目的を持って時間を使いたい」という意識が強いようだ。

年代別では、10代でラジオを聞いたり、テレビを見たりする「のんびり休養する」と同点、20代・30代・50代で旅行に行く、40代・70代以上で趣味を楽しむ、60代でラジオを聞いたり、テレビを見たりする「旅行をする」と同点(がトップという結果となった。

行政サービスへの期待『除雪対策』がトップ

『聞かせて、みんなの暮らし 2006』
- 市民意識調査の結果と分析 -

留萌市役所では、平成 19 年 4 月からの実施を目指して、新しい総合計画作りを進めています。総合計画は、市民のみなさんの暮らしや営みの向上のために、ムダのない行政運営と効果的な行政サービスを行う一番の基本となる計画で、今後の市役所の仕事を整理し、目標を定めるものです。そこで、この計画作りや市役所の仕事に役立てるため、市民生活意識調査を行い、市民のみなさんの日常的な生活の様子や市役所に対する要望、留萌のイメージなどをお聞きしました。今回の意識調査では、3月16日(木)から3月31日(金)を調査期間として、住民基本台帳から無作為抽出した満 16 歳以上の市民 500 名を対象に行い、結果 195 件の回答をいただきました。その結果をまとめましたので、公表いたします。

【行政サービスに対し留萌市民が重要視している事柄】を聞いたところ、次の項目が上位となった。

猿トップは、除雪対策(48.2%)で、冬の除排雪は最重要課題にランクされた。
猿2位は、医療の充実(46.7%)で、市立病院の診療体制への関心の高さがうかがえる。
猿3位は、雇用・労働対策(44.1%)で、昨今の景気動向と雇用状況の厳しさがうかがえる。
猿4位は、商店街や中心市街地の活性化(38.5%)で、活気あるまちづくりへの期待感がうかがえる。
猿5位は、老後の暮らし(介護・生活支援)の充実(36.4%)で、別の問いの結果からも、老後の生活への不安感がうかがえる。

猿6位は、財政再建(32.8%)で、市民の関心の高さがうかがえる。

年代別のトップの項目を見ると、10代・20代は除雪対策、30代は育児・子育て対策、40代・50代は雇用・労働対策、60代・70代以上は医療の充実」という結果になった。
「除雪対策」「医療の充実」「商店街や中心市街地の活性化」は、ほぼ全世代でランクが高かった。
男女別で見ると、男性では財政再建、女性では商店街や中心市街地の活性化への関心が高いという違いが見られた。
ただし、男女共に「除雪対策」「医療の充実」「老後の暮らしの充実」「雇用・労働対策」の割合は高かった。

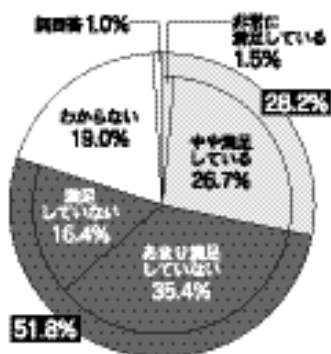
トップ10	構成比
除雪対策	48.2%
医療の充実	46.7%
雇用・労働対策	44.1%
商店街や中心市街地の活性化	38.5%
老後の暮らし(介護・生活支援)の充実	36.4%
財政再建	32.8%
観光振興	18.5%
育児・子育て対策	16.9%
自然環境の保護	15.9%
防災や災害対策	14.4%

(複数回答)

「市の仕事」に対する満足度は低い

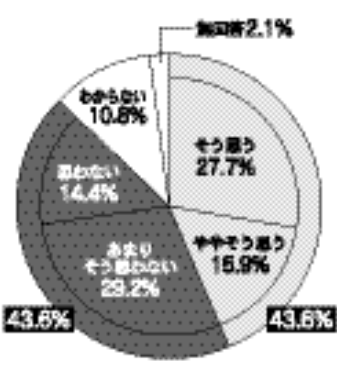
【市の仕事行政サービスへの満足度】を聞いたところ、「満足・まあ満足」の計が28.2%で、「やや不満・不満」の計が51.8%と満足傾向よりも不満足傾向が上回る結果となった。

年代別、男女別でも共に「やや不満・不満」と答えた方が多かった。



「コンパクトシティの実現」の賛否は半々

【コンパクトシティの実現に対する賛否】を聞いたところ、「そう思う・ややそう思う」の計が43.6%と「そう思わない・あまりそう思わない」の計が43.6%となり、今の時点ではどちらともいえないという結果となった。



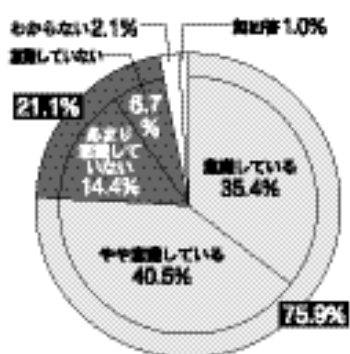
【コンパクトシティの実現とは】新しい総合計画と自治基本条例の策定のために現在開催している「まちづくり市民会議パッシオンミーティング」では、コンパクトシティの実現について次のように考えています。

「中心市街地活性化と言われていますが、留萌はまだいい方に入ります。国道沿線に大型店ができ、中心がさびれていく。(今後は)人口減の予想の中で、外に広がるよりも、まち中に人を集めていくことが大事であり、そのための地域づくりを行う必要がある」

「地産地消・一次産業」に対する関心が高い

【地産地消や一次産業を見直すことへの意識】では、「意識している・やや意識している」の計が75.9%であるのに対し、「意識していない・あまり意識していない」が21.1%と下回わり、回答者の多くが意識している傾向が強いという結果となった。

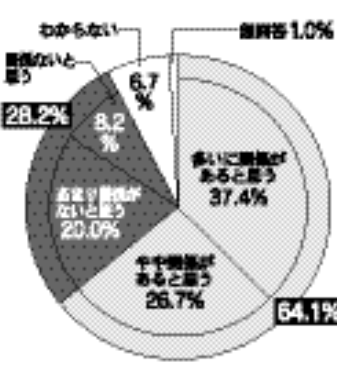
年代別では30代以上は意識している傾向が強かったが、逆に10代・20代は意識していない傾向が強かった。



男女別では、共に「意識している」傾向が強かった。

「留萌らしさと留萌港」は関係が深いが多数

【留萌らしさと留萌港の関係】を聞いたところ、「おおいに関係ある・やや関係がある」の計が64.1%であるのに対し、「関係がない・あまり関係がない」が28.2%と下回わり、関係があると思う傾向が、かなり強いという結果となった。

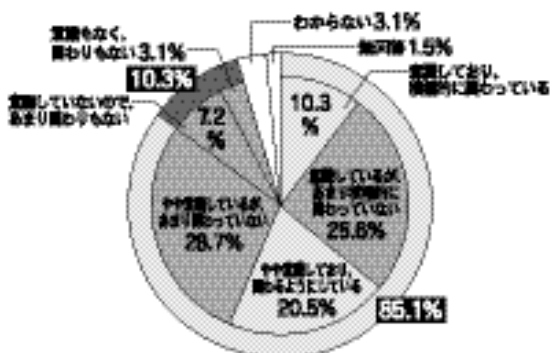


年代別では、全ての年代で関係がある傾向が強く、中でも意識が高かったのは、60代以上だった。

男女別では、共に「関係がある」傾向の方が強かった。

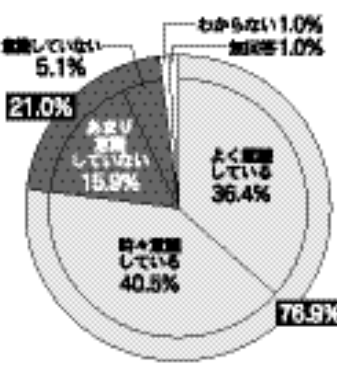
「地域社会(地域活動)」は意識と行動にギャップ

【地域社会(コミュニティ)やボランティア活動などの市民のつながりの再生への意識】を聞いたところ、意識の持ち方については、意識しているが85.1%であるのに対し、「意識していない」が10.3%と下回り、圧倒的に意識している方が多いという結果となった。



7割以上が「自然の価値」を意識している

【留萌地域の自然環境の大切さ】では、「よく意識している・時々意識している」の計が76.9%で、高い割合になった。



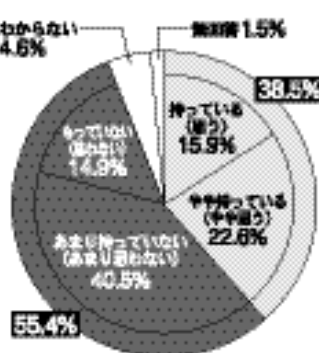
年代別でも、全ての年代で意識している傾向の方が強いという結果になった。中でも意識が高かったのは、60代以上だった。

男女別でも、共に「意識している」傾向が強かった。

留萌市民は「まちへの誇り」がやすい

【留萌に誇りを持っているか(誇りに思うか)】について聞いたところ、「持っていると思う」・「やや持っていると思う」の計が38.5%であるのに対し、「持っていない(思えない)・あまり持っていない(思えない)」の計が55.4%と上回わり、半数以上が否定的な意識が強いという結果となった。

年代別では、10代・70代以上で「誇りを持っている」傾向が強く、逆に20代から60代は、誇りを持っていない傾向が強かった。



男女別では、共に「誇りを持っている」傾向が強かった。

アンケートのまとめ

今回のアンケートでは、「皆さんの暮らし」にスポットをあてて調査を行いました。この結果は、今回の計画づくりや今後の市政運営の基礎資料として活用いたします。

アンケート結果の詳しい内容は、留萌市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

今後、総合計画の基本的な目的に対して、目標を設定するため、「行政サービスの必要度と重要度」についてのアンケートを行いたいと考えています。みなさんのご協力をお願いいたします。

お問合せはこちら

留萌市企画財政部企画調整グループ
総合計画担当 歳桃・益田・竹内

☎ 0164・42・1869 / FAX 0164・43・8778
mail : rumoi_npm@bz01.plala.or.jp